



薬剤部からの紹介

「お薬手帳」を有効に活用しましょう。



「お薬手帳」はあなたのアレルギー記録や副作用情報、あなたが使用している薬について記録しておくための手帳です。服用状況や服用後の体調変化、自分で購入した薬等をできるだけ時間経過の順に記入しておき病院や薬局に行くときには必ず持っていきましょう。

もう一つ重要なことは「お薬手帳」は薬局ごとに持たず、1冊にまとめておくことです。

1冊にまとまっていることで医師や薬剤師により正確な情報が伝わり、薬の副作用回避や重複防止等が出来るようになります。

最近ではスマートフォンのアプリを使った便利な「電子版お薬手帳」もありますので、そちらを利用されるのも良いでしょう。



INFORMATION お知らせ

敷地内の全面禁煙について

標記の件につきまして、2019年7月より健康増進法が一部改正され、2020年4月より全面施行となり、学校・病院・行政機関等では原則敷地内禁煙となります。

当院は、この趣旨に基づき、患者のみならず職員の健康管理の強化及び健康増進を図ることを担う病院の社会的使命を果たすため**病院敷地内(病院建物内・駐車場等)全面禁煙を実施いたします。**

皆さまには趣旨をご理解の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

実施日 2020年5月1日～



募集中!! JA吉田総合病院は「院内ボランティア募集中」です。ご連絡をお待ちしています。

お問合せ: JA吉田総合病院地域医療連携室 電話 0826-42-0669(高木)まで

基本理念

1. 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
2. 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
3. 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

基本方針

1. やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
2. 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
3. 生涯学習の精神を保ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
4. 努力と強調で健全経営に努め、明るい職場をつくります。
5. 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規を遵守します。



医師紹介

「おしりとウンチでお悩みの方へ」

JA吉田総合病院 外科医師 主任部長  
大腸肛門病専門医 臨床肛門病技能認定医

児玉 真也



当院外科では、7名のスタッフで消化器・一般外科と人工腎透析科の診療を行なっています。専門外来として肛門外来、慢性腎臓病外来、乳腺外来を開設していますが、今回はその中で私の専門分野の一つである、肛門疾患についてお話しさせていただきます。疾患別に説明しても長話になるだけなので、肛門外来でよく見かける疾患を例に挙げ、おしりやウンチの事でお悩みの方のお力になれるよう、ザックリとお話したいと思います。

肛門外来で目にする機会が多い疾患は、三大肛門疾患といわれている①痔核(いぼ痔、脱肛)、②裂肛(切れ痔)、③痔瘻(肛門周囲膿瘍)と、④肛門皮垂(肛門皮膚のたるみ)、⑤直腸脱や直腸粘膜脱、⑥便秘、⑦便失禁、⑧肛門掻痒症などで



す。このうち便秘、便失禁、肛門掻痒症はその名のとおりに、「出ない」、「漏れる」、「かゆい」が訴えて、患者さん自身での診断は簡単です。ただしこれらは症状がそのまま病名になったものであり、大切なのはその原因が何か?です。加齢や体質、生活習慣などが原因である場合がほとんどですが、①～⑤に挙げた肛門疾患や炎症、大腸癌などが原因であることがあり、薬物治療と並行して詳しい検査を行う必要があります。明らかな原因がある場合、それを治療することで便秘や便失禁の症状が改善もしくは軽減されます。

一方、①～⑤に挙げた形態的に異常を認める疾患は、「血が出る」、「痛い」、「イボが出ている」、「切れる」、「腫れている」など様々な訴えて来院されます。どの訴えもこれら①～⑤の疾患で認められてもよい症状であるため、思い込みや他の人の話をもとに、間違った自己診断をしている患者さんも珍しくありません。①～⑤の疾患は、その時の状態によ

て、治療が必要ないもの、薬の治療でよいもの、痔への注射療法がよいもの、手術をしないと治らないものなど、治療法は様々です。『痔は切らないといけない』という噂を信じ、「手術を覚悟していました」と言われ、安心して帰宅される方も少なくありません。実際のところ手術が必要な人は全体の2～3割程度です。そのため肛門外来では的確な診断が求められます。今回お話しした疾患以外にも、皆さんがこれまでに聞いたことがないような疾患もたくさんあります。わかりやすい説明とできるだけ患者さんのご要望にお応えできるような治療を心掛けています。おしりやウンチでお悩みの方はお気軽に受診して下さい。



## NEW FACE

## 令和2年度からの新任医師紹介!



内科

延岡 悠樹 Yuki Nobuoka

趣味 ▶ フットサル

内科医師として赴任しました、延岡悠樹と申します。安芸高田市の医療に少しでも貢献できるように頑張っていきたいと考えております。皆様よろしくお願いいたします。



内科

山根 愛 Ai Yamane

趣味 ▶ テニス

内科医師として赴任しました、山根愛と申します。地域の皆様に少しでも貢献できるように一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



外科

荒田 了輔 Ryosuke Arata

趣味 ▶ フットサル

本年度より外科に赴任しました、荒田了輔と申します。微力ながら地域の皆様に貢献できるよう、日々邁進していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



皮膚科

坂本 旭 Akira Sakamoto

趣味 ▶ 水泳

4月より皮膚科常勤医として着任しました。平成20年に岡山大学を卒業し、広大入局後は、尾道、東広島、呉、広島市と勤務して参りました。皮膚科全般を丁寧に診察させていただきます。よろしくお願いいたします。



精神科

井上 俊一 Syunichi Inoue

趣味 ▶ e-スポーツ

昨年まで、三原病院という精神科病院に勤務しておりました。当院は精神科病床が非常に多く、身体と精神の双方の加療を求められています。その役割を果たせるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



精神科

土井 勉 Tsutomu Doi

趣味 ▶ 散歩

本年度よりお世話になります。精神科7年目となりました。安芸高田市の生活に早く慣れたいと思っております。微力ながら地域に貢献できたらと思います。ご指導の程よろしくお願いいたします。

## 新採用者の紹介と近況

## Freshers Report



令和2年度、当院には看護師13名、放射線技師1名、臨床工学技士1名、薬剤師1名、介護福祉士1名、事務職2名の総勢19名が入会しました。

新しい年度の始まりは、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した対応からスタートでした。感染症の拡大を防止する為に、入会式は当院で行いました。スーツ姿に緊張した表情ではありましたが、病院長から辞令を受け取る姿には当院で働く決意が伺え、新しい仲間が増えたことに喜びを感じました。病院長、事業局長、看護部長と新採用者で写った写真は貴重な記念写真となりました。

当日から新採用者は新採用者研修を受講します。この時期の研修は、社会人としての基礎を学び、職種は異なっても同期間の絆を強めることに繋がります。また新人看護師にとっては、看護実践の基礎を形成する時期として重要な意義も持ち、学び続ける看護師の育成と早期離職予防対策として重要な研修だと考えました。そこで、新型コロナウイルス感染症拡大防止「3密」を徹底するために研修方法を変えました。新採用者全員の研修内容は①地域を知る②当院の歴史を知り、地域での役割を理解する③病院で働くこと



▲「3密」を避けての集合研修



▲新採用者19名の集合写真

ということ④感染対策と医療安全を学びました。当院の職員として安芸高田市を知ったことで受講者は、「地域に求められる病院」を理解し、求められていること、病院で働く職員としての心構えを話し合いました。多職種から様々な意見があり有意義でした。



◀認定看護師の指導で食事介助研修



お互いに注射の練習▶



新人看護師の研修では、現場で経験する看護技術、看護職としての接遇と配慮、先輩看護師のケアの実践発表を聴きました。技術の練習は緊張しながらでしたが、ひとりひとり一生懸命に技術指導を受け積極的に学びました。接遇と配慮では、患者・家族の立場になり意見を出し合いましたが、企画者が考えた以上の意見がありました。現在は、現場で先輩看護師の指導を受けながら看護をしています。これからも当院の職員として成長できるよう支援していきます。

看護副部長 教育担当者 大櫻 明美